



2012年10月9日

各位

会社名	キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表者名	代表取締役社長 山下 正弘 (コード番号 4569 東証第1部)
問合せ先	コーポレートコミュニケーション統轄部長 宮木 修次
電話	03-3293-3414

医療用外用抗真菌剤「ペキロン[®]クリーム0.5%」に関するビジネスの譲渡について

当社の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：宮下三朝）と、ガルデルマS.A.（本社：スイス ローザンヌ、CEO：ウンベルト・アントゥネス、以下「GSA」と略す）は、医療用外用抗真菌剤「ペキロン[®]クリーム0.5%」（一般名：アモロルフィン塩酸塩）に係るビジネスの譲渡に関して、資産譲渡契約を締結いたしました。

本剤は、杏林製薬（株）が日本国内において1993年10月に製造販売承認を取得し、1994年2月から自社販売を開始したものです。その後、杏林製薬（株）は2002年3月にGSAの日本法人であるガルデルマ株式会社との間で販売移管契約を締結し、同社に対して「ペキロン[®]クリーム0.5%」の供給を行っていましたが、この度、両社は資産譲渡に関して合意し、上記契約の締結に至りました。なお、本剤は現在、佐藤製薬株式会社と併行販売を実施しておりますが、GSAへの本ビジネス譲渡後も、佐藤製薬（株）による販売は継続されます。

杏林製薬（株）は、マーケティングを呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科に重点化するフランチャイズカスタマー（FC）戦略を推進しておりますが、本ビジネスの譲渡により、重点領域に対して一層の注力拡大を図ることができるものと考えております。

一方、GSAは皮膚科領域に特化した企業であり、皮膚科疾患の治療ニーズを満たす革新的なソリューションの研究・開発、製造、販売を行うことを使命として欧米では約30年前から事業を開始し、70カ国以上で製品を販売しております。また、GSAは海外において同一有効成分（一般名：アモロルフィン塩酸塩）含有製品の生産・販売を行っており、今回の資産移転により医療用外用抗真菌剤の市場におけるポジションを確立できるものと考えております。

1. 日程

譲渡日：2013年2月1日（予定）

2. 損益に与える影響

2013年3月期の連結業績予想への影響は軽微です。

(参考資料)

ガルデルマについて

ガルデルマは、1981年にネスレとロレアルの両社によって設立された皮膚科領域専門のグローバルな製薬会社であり、「世界中の方々の生涯を通じた皮膚に関するあらゆるニーズを満たし、世界中の皮膚科医をサポートするために、革新的なメディカルソリューションを提供する」ことを目標としています。約4,000名の社員がおり、31ヵ国で全額出資の現地法人による事業を展開するとともに、代理店網により70ヵ国で製品を販売しています。日本では、ガルデルマ株式会社を1996年に設立いたしました。ガルデルマの製品は、にきび、酒さ、爪白癬、乾癬およびステロイド反応性皮膚疾患、色素異常、皮膚がんなどさまざまな皮膚疾患の治療や、皮膚の老化の医学的解決に貢献しています。

また、売上高の約19%を新薬の発見と開発や、革新的技術の入手に投資しており、皮膚科学領域における研究開発では世界トップクラスの投資をしている企業です。

詳しくは、ウェブサイト <http://www.galderma.com> をご覧ください。